

お取引様 各位 お客様アンケートご報告

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、ありがとうございます。
11月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、ご意見の一部をご紹介します。

■ご意見①■

「市販のネズミ駆除用粘着マットを購入して、
自分達で駆除は可能ですか？」

まず駆除は出来ないと思います。

警戒心の薄い子ネズミでしたら数枚～数十枚のマットで捕獲する事は可能かもしれませんが、頭が良く、警戒心が非常に強く知恵もついている親ネズミはまず捕獲は不可能でしょう。

従って、弊社で行っている様に店内全域に数百枚単位のマットを隙間無く設置する事で警戒心の強い親ネズミを始め、店内に侵入するネズミを完全に駆除する事が出来るのです。

■ご意見②■

「ビルテナントの中に店舗があるのですが、
ネズミの駆除は可能でしょうか。」

可能です。

徹底的に捕獲作業を実施した後、捕獲作業で割出した穴(侵入経路)を鉄板やシリコン等の防鼠材で塞ぎ、外部から侵入する事を未然に防ぎます。

従って、例えば下や上に他店舗が入っていても全く問題はございませんのでご安心下さい。

■ご意見③■

「この頃、ネズミを見かけます。ネズミの侵入はどのように見つけるのですか？」

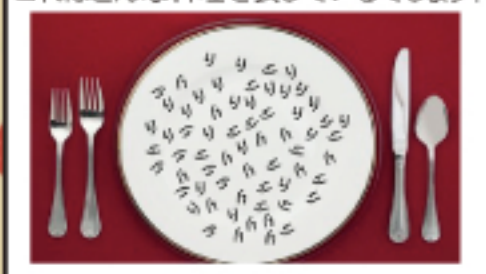
事前調査によりラットサイン(ネズミの通った後の汚れ)を探し、大方の侵入路を見つけ出しますが、特に都市部で大量発生しているクマネズミの場合、伸縮自在で1cm程の穴があれば侵入可能と言われていいます。

そのため事前調査だけで全て探し出すのは至難の業です。
そこで、当社では夜間捕獲を繰り返し、捕獲体の位置や向きでネズミの侵入路を見逃すことなく探し出します。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。ご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。
どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

敬具

これはどんな料理を表しているでしょう？



答えは
この下に
あります♪



アンケート調査を毎月行っております。
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらをご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

0120-32-3164

※一部八尾以外はご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News 2016年12月号 No.152



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム & 社員コラム

施工員ブログ

生活の豆知識

FCC商品紹介

株式会社FCC



〒251-0043
神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32
Tel 0466-31-3164
Fax 0466-31-3174
URL <http://www.fccsystem.co.jp>
E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

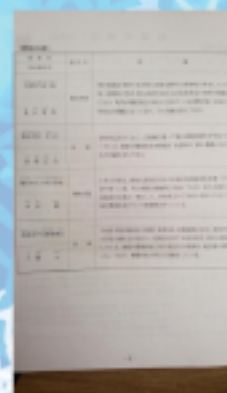
湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

美化活動

人に認めて頂くためにやっている訳ではありませんが...



昨日、藤沢市から表彰されました。近隣の方々が推薦してくれたみたいです。ありがとうございます。



団体の部では4団体が選ばれましたが、営利法人は弊社だけでした。長年に亘る近隣清掃が認められました。

正直、社員も励みになったと思います。これから地域のために活動していきます。

人を生かす経営全国交流会

千葉県幕張で行われました。とても学びの多い2日間でした。社長も社員も同じ。対等な人間尊重がポイントです。社員を掛け替えのない経営のパートナーと思えるか？

沢山の学びに感謝です。来賓のご挨拶は森田健作知事です。



この2日間私はグループ長でした。1日目も2日目も。延べで190分でした。しかも全国の幹事長が居るグループです。



宿泊はニューオータニだったのですが、空があったみたいでホテルの配慮でセミスイートになってました。景色が綺麗でした。

帰社後、これまた4時間のPDCA会議。タフな私もさすがに疲れました。。

FCC社員コラム

まっちゃん Blog



指針作成部会

すっかり寒くなり上着を手放せない時期になりました。11月にはいり早くも1週間が過ぎようとしています。あと1ヶ月半ほどで2016年も終わります。今年も月日がたつのが早いと思っていましたが、もうすぐ2017年なんて本当に早すぎて...

FCCでは毎年この時期は経営指針発作成を社員全員で進めています。今年はM課長と一緒にトータルコーディネーターをやらせていただいています。

今週は今期の反省をし来期その反省をどう活かし業務を遂行するのか振り返りの時間を設けていただきました。再来週には指標・目標に対してのPDCA報告の会議が待っています。

FCCの作成部会では、役職者が進行を務め、若手や新入社員から意見を引き出すのも役割の1つです。ただどうしてもこれが私はうまくできず相変わらず苦戦しています。

半年度計画をはじめ、自身の部署の方向性や進め方・手法などを考えているとわくわくが勝ってしまいつい自身の意見を全面に押し出してしまいます(苦笑) 部会時は普段なかなか話せない会社に対する思いなども聞けるので楽しいのですが、気をつけなくては...!!

まだまだ決めなくてはいけないこと、話し合わなくてはいけないことがたくさんあります。いちから見直し進めていきたいと思っています。



施工員ブログ

<おしほりウォーマー>

朝晩が冷え込む季節となりました。
ゴキブリの生息ポイントも、これまでの広範囲から
熱源周辺へと変化します。

注意ポイントのひとつとして、おしほりウォーマーが
挙げられます。



コードの部分も巣になり易いのですが、
注意したいのは写真にあるように脚の溝の部分です。



通常の状態では見えません。
水受けを外し、本体を裏返すか後ろ向きにすると
潜んでいる部分が見えてきます。

この様にゴキブリは、普段見えるところには中々
出現しません。
習性を踏まえて巣を見逃さずに完全駆除致します。

<冬はひっそりと>

先週から急激に冷え込んできて、いよいよ本格的に
冬も近づいてまいりました。
皆様も虫を見かける機会が減ってきたのではないで
しょうか。

しかし、ゴキブリをはじめとする虫の多くはいなく
なっているのではなく、ひっそりと身をひそめて
春の訪れを待っているだけなのです。

例えば、屋内ですと写真のように木材やレンガの隙間等、
暖かい材質の隙間に入り込みます。



また、屋内には電気機器など年中暖かい場所が多々
ありますので、虫が絶える訳ではありません。

春になって出てきてからの駆除では遅く、逆に今の季節
に対策することで来年の平穏を得ることが出来ると
考えてみては如何でしょうか？

もし宜しければご相談だけでもお気軽にご連絡ください。

<いかがでしょうか！>

こんにちは。
チャパネゴキブリの新規施工へお伺いしました。
こちらの写真をご覧ください。

①ショーケースの水受け裏です。



②コールドテーブルモーター電源隙間です。



③④ショーケースをどかしたゴミの中です。



いかがでしょうか。皆様が普段見ない場所に
チャパネゴキブリの巣があります。
こんな時はFCCです。

- ①ショーケースを動かし施工をします。
- ②コールドテーブルの天板を外し
熱源やモーターを施工します。
- ③④ゴミを掻き出して施工をします。
(※時と場合により、什器など動かせない物、
天板が外せない物があります。)

今回の新規施工でも、きめ細やかな施工を致しました。
チャパネゴキブリが居なくなるのが楽しみです。

生活の豆知識

加湿器病の予防で

加湿器は、冬の室内での乾燥を緩和させて、皮膚の乾燥の予防、乾燥性の結膜炎の予防、インフルエンザの予防に役立っています。

一方、加湿器の普及に伴って、加湿器病（加湿器熱、加湿器肺）というアレルギー性の肺の病気が問題となっています。

そこで今回は『加湿器病』についてご紹介致します。

●加湿器でインフルエンザを予防

加湿器が普及した理由はいろいろあります。

建物の構造が進歩して密閉性が高くなり、暖房が効率的になりました。そのため室温が上昇し、ただでも乾燥している冬の空気がさらに乾燥する結果となりました。それに伴い、空気の乾燥で症状が悪化する、乾燥性皮膚炎や乾燥性の結膜炎が増加しました。

また、冬にインフルエンザが流行する理由の一つとして、「乾燥」があげられます。そのため、その逆をとって空気を加湿することにより、ウイルスの生存率が下がることもわかっています。

つまり、加湿器を使えば、乾燥性皮膚炎、乾燥性結膜炎、インフルエンザの予防などをできるのです。

一般家庭用に使われ始めた加湿器の方式は、水を加熱して蒸気として加湿する加温式（蒸気式）でした。しかし、加温式加湿器の蒸気による、乳幼児の熱傷の事故が発生したため、加温式は乳幼児に対して危ない、という風潮になりました。

そこで新しい“超音波式”が普及してきたのです。

●加湿器病はアレルギーによる病気

超音波式の加湿器は、加温しないために蒸気による熱傷の事故の心配がありません。そして構造が簡単なため、安価で購入することが出来ます。運転中の騒音も静かです。水がなくなれば継ぎ足しすることもできます。

ところが超音波式の加湿器には予期しない欠点がありました。それは、“水が汚染されやすい”という点です。

欠点の一つ目は、超音波による振動のために水道水中の殺菌成分の塩素が早く空気中へ飛んでしまうので、塩素による殺菌効果がなくなってしまいう構造上の問題です。

欠点の二つ目は、仕様書には、清掃を定期的にすべきと書いてありますが、電源を入れたままで水を継ぎ足すことができるので、ついつい清掃がおろそかになってしまう使用方法の問題です。

その結果、タンク中や本体の水に細菌、カビなどの微生物が繁殖しやすくなり、その微生物を食べるアメーバも繁殖します。

超音波式の加湿器は、大きな粒子を飛ばすことができるため、増殖した微生物を空気中にばら撒く結果となっていました。加湿器によってばら撒かれた微生物を肺に長期間吸い込むとそれに対するアレルギーができてしまいます。

加湿器病は専門用語では過敏性肺臓炎と呼ぶアレルギー性の肺の病気です。症状としては、風邪と似た咳・発熱・悪寒・全身倦怠感などですが、アレルギー反応が激しい場合には呼吸困難を起こすこともあります。

病気を予防するつもりで加湿器を使用した結果、病気を引き起こしたのが『加湿器病』なのです。

●加湿器病の予防には“清掃”が大切

加温式の加湿器では、加熱により大部分の微生物は死滅させます。また、水蒸気として加湿するため、微生物をまき散らすことがなく加湿器病の危険性は低いです。しかし、早く加湿することはできますが、蒸気による熱傷には注意が必要です。

超音波式では構造上、本体の清掃が難しい機種があります。また、一日一回の清掃では、清掃と次の清掃の間に微生物が繁殖することが確認できていますので、加湿器病の危険性を低くすることができません。

超音波式から、買い替えるまたは新規購入するならば、早く加湿できる加温式と安全性の高い気化式の機能を備えた複合型（ハイブリッド型）がおすすめです。しかし、加温式でも複合型でも、微生物による水の汚染は予防すべきなので、定期的な加湿器の清掃は大切です。

ご自身やご家族の健康のためにも、加湿器の清掃を徹底していきたいものです。

FCC取扱い商品紹介

FCC®オイルクリーン 1本3,240円(税込)



ギトギトベタベタで擦っても中々落ちない油污れて お困りではありませんか？

FCC®オイルクリーンは油污れに特化したエコ洗剤です。油を乳化させる事により、油のギトギトベタベタした性質を消失させますので、簡単に油污れを落とす事が可能です！また、食器や調理器具だけでなく、換気扇などしつこい油污れがつきやすいものに対してもご利用頂けます。

【品名】台所用合成洗剤

【液性】中性

【正味量】1000ml

【用途】食器・調理用具

【成分】界面活性剤(90%)非イオン系界面活性剤

FCCオリジナルエコ商品の販売や、衛生に関する店長ブログなどもあります！

気になった方は

[衛生用品.com](http://seishinbunpin.com)

検索